

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	草花保育園
活動日時	12月25日
クラス名(年齢)	ことり組(1歳児)
年間テーマ	音

1、活動テーマ

<テーマ>

葉の感触や音を聞く

<テーマの設定理由(子どもの姿)>

落ち葉を見つけ手で触った際、パリパリする感触にびっくりしている子どもの様子から、落ち葉の感触や音を楽しんでみる。

2、活動スケジュール

園舎裏で落ち葉を手で触ったり、足で踏んでみたり、上からひらひらさせたりして楽しむ。

3、環境をデザインする(活動のために準備した素材や道具、環境設定)




ひらひらさせる際に、頭に被っても大丈夫なように、砂の無いきれいな落ち葉を集めておく。保育者が側に付き添い、音や感触に興味を持てるようにする。

4、探究活動の実践

<活動内容>

活動前に落ち葉を一つずつ見せて興味を持てるようにする。始めは子どもが好きなように触って自由に楽しめるようにする。その後、保育者が落ち葉を握って見せ、パリパリする音を知らせたり、一緒に踏んだり触ってみたりして楽しめるようにする。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

子どもの言葉・姿	写真
<ul style="list-style-type: none"> ・落ち葉を見せると「はっぱー」と言って興味を持つ。紅葉の葉を見せながら、歌「もみじ」を歌い楽しむ。これから落ち葉で遊ぶ事を知らせると「わーってする!」と以前葉っぱ遊びで楽しかったことを思い出して知らせる子どももいた。 ・さっそく落ち葉を上に向けてひらひらさせて楽しんでいた。 ・保育者が落ち葉を握ってパリパリ音がする様子を見せると、興味を持って見ていた。 ・「踏んでみよう」と誘ってみると一緒に足で踏んで楽しんだ。 ・落ち葉を集めて山を作ったり、大きな入れ物に落ち葉を入れて片付けも楽しむ。 	  

5、振り返り(振り返りによって得た保育者の気づき)

初めに好きな様に遊んでいた時は、音まで意識をして触ることはなかったが、保育者が興味を誘うことでパリパリの音やカサカサの音を味わうことができた。子どもが自由に触れることで、みんなが興味を持って触れ、楽しい気持ちで参加できたように感じる。今回は実際に葉に触れながら感じる事ができたので、今度は手作りマラカスなどで、じっくり音を楽しめるようなものを用意してみようと思う。